

NPO・市民活動団体の協働促進のためのアンケート調査結果!!

担当 宮地 剛

現在、市財政の逼迫やコミュニティの弱体化など、私たちの住む地域社会には様々な問題が未解決のまま山積みになっています。このような状況の中で、今後は地域社会の諸問題の解決を目的としたNPO・市民活動団体の活動は、ますます重要になってくると考えられます。しかし、ヒト・モノ・カネの慢性的不足に頭を悩ませつつ、貴重な自分達の資源(時間、資金)を注ぎ込んで、なんとか持ちこたえているというのが、私たちNPO・市民活動団体の運営の現状ではないでしょうか。

個々の団体の不足を互いに補い合い、強みを掛け合わせる「協働」が一つの解決策と考えます。

このような問題意識のもとに、「高槻市のNPO・市民活動団体が抱えている問題を具体的に明らかにし」、「それらの問題を解決するための方策を検討する」ために情報を共有することを目的として、「NPO・市民活動団体の協働促進のためのアンケート」を実施いたしました。

アンケート調査の概要

アンケート対象：97団体(NPO法人:80、NPO法人以外:17)

回収：39団体(回収率:40%)

NPO法人:31(会員:19、会員外:12)

NPO法人以外:8(会員:5、会員外:3)

実施時期:2007年3月

調査結果の概要

(1) 現在の活動について

活動領域に対する質問から高槻市の市民活動は、「高齢者介護」「子育て」「教育」「地域保全」といった家庭生活を中心に広がっていく「地域生活支援型」と呼ぶべき領域での活動が、約50%ほど占めています。活動

で困っていることの90%以上が、「人・モノ・金・情報」の不足で、特に介護保険制度外での活動の場合、無償・有償ボランティアの人的資源による活動が大半を占めています。

(2) 今後の活動について

今後の活動については70%以上の団体が「今後も活動を継続していける」と答えられており、その理由として「スタッフが豊富である」「市民の理解がある」をあげられています。これらのことから「人・モノ・金・情報」の慢性的な不足に悩みながら、活動を理解して下さる市民の人的資源に頼りながら活動を行っている諸団体の姿がうかがえます。また今後目指すべき運営形態として、約70%の団体が「社員(最低賃金以上)と有償ボランティアによる運営」をあげられています。

(3) 他団体との協働について

他団体との協働については75%以上の団体が「他団体と協働で活動がよりよいものになると考える」と答えられています。また「今後、他団体との協働(人、モノ、資金、情報、サービス等の提携関係を作ること)による活動や事業展開を、行っても良いと考えている」団体は70%になりました。しかし具体的な構想がある団体は約23%に留まっています。

(4) たかつき市民活動ネットワークの役割

以上の調査結果を踏まえて、たかつき市民活動ネットワークは、高槻市の市民活動の事業型への転換、運営の財政的な安定化が重要な課題だと捉え、その実現のための社会的制度・経済的制度といった環境づくりが必要と考えています。団体間の協働促進事業も、その枠組みの中に位置づけ、今後、いくつかの事業を企画・実施していきます。皆様のご参加とご協力をよろしくお願いします。

12月1日(土) <第3回>たかつきNPO協働フェスタを開催します

担当 飯村 六合夫

会員の皆さまの奮ってのご参加と、ネットワークブースへの支援をお願いします。約35のNPOやボランティア団体が参画して、今年も「たかつきNPO協働フェスタ」・市民パワー100%【ともに創ろう私たちのまち】が、12月1日(土)、10時45分から16時の予定で、市総合センター1階展示ホールと3階会議室にて、開催されます。展示ホールでは、「食べる」「住む」「育む」「助け合う」の四つの切り口か

ら、参画団体の活動についての協働展示。高齢者向け弁当販売も、昨年同様実施(今回は@550円)。ネットワークは3階第2会議室を、スタンブラリーのゴール地点とするよう提案し、お茶の間設計と協働して担当します。市民の活動への理解促進や協働のねらいを知ってもらう、を実現させるべく、パフォーマンスと展示の企画を実行委員会が立案しております。乞う！ご期待です。

「NPOメッセin関西2007」のお知らせ

～ 分野/セクター/国境を超え、社会デザインの可能性を探る ～

12月1日～3日に開催される、全国のNPO関係者が一堂に会する集いのお知らせです。

現在、NPOセクターを取り巻く状況はどのように変化したでしょうか。今後の展望としてどのような社会が見えるでしょうか。ひとつの節目となる今年、NPO法人への融資等を通じその支援に取り組む近畿ろうきんと日本NPOセンターをはじめとする関西の主要なNPO中間支援組織が協働で全国型のNPOメッセを開催します。

メッセの中心は、**昨年ノーベル平和賞の受賞で世界的に注目を集めるバングラディッシュの貧困救済銀行「グラミンバンク」副総支配人のお話**です。その経験は、市民による人間を中心とした社会システムへの新たな挑戦と見るすることができます。その成果は日本におけるNPOセクターのさらなる発展と社会づくりに向け大きな示唆を含むのではないのでしょうか。

こうしたことを受け、このメッセでは、「**分野/セクター/国境を超え、社会デザインの可能性を探る**」を共通テーマとして、社会の新たな可能性を模索する場としていきたいと考えています。

場所：大阪経済大学

主催：近畿労働金庫、日本NPOセンター、
「NPOメッセin関西2007」実行委員会

参加費：12月1日 無料

12月2日および3日 有料



プログラム：

12月1日(土)

12:45～17:45

1日目は近畿ろうきんが実施主体となって開催します。

基調講演「テーマ(案)社会を変える金融～グラミンバンクの実践から」

グラミンバンク副総支配人 ウマイ・クルスム氏

セミナー1・・・「社会的金融～お金の流れが社会を変える」

新たな社会システムを支える金融のありかたを模索します。

セミナー2・・・「多重債務のない社会へのアプローチ」

生活苦、一家離散等々、多くの問題を生む多重債務や消費者被害の解決に向けてグラミン方式を糸口に開始された社会的アプローチを模索します。

12月2日(日)午前、午後 (企画中)

日本NPOセンター、メッセ実行委員会が実施主体となってNPOを取り巻く諸課題を共有し、幅広いテーマに渡って社会変革の可能性を探っていきます。午前中を共通キーセッションとし、午後から課題ごとの分科会を5～6本開催します。

12月3日(月)午前、午後 (企画中)

ホームページを開設しました！

担当 松浦 正徳

2007年度事業計画「5. 組織体制の強化」の一つとして、HP 編集委員会ではホームページの作成に取り組んできました。9月8日(土)“みんなの家”にインターネットが開通したことを機にホームページを一気に公開しました。

私たちのホームページは、会員や市民の皆さんに親しんで貰える構成でありたい、そして常に新鮮なニュースをタイムリーに発信し、楽しいホームページを作りたいという思いで作成しています。

「みんなの広場」および「イベント紹介」コーナーは、会員の皆さまをはじめ、市民の自由な意見・情報交換の広場です。どんどん、ご意見・情報をお寄せください。

「会員紹介」コーナーは、会員の皆さまの自己PRを掲載しています。300字以内にまとめてお送りください。事務局のメールアドレスは、t-can021126@mbe.nifty.com

「会員ホームページ集」コーナーでは、会員の皆さまのホームページにリンクしています。個人会員の所属する団体のホームページもご紹介し

ておりますので、リンクをご希望の方は、事務局までお知らせください。また、皆様のホームページからも、私たちのホームページへ是非リンクを張っていただくようお願いします。

親しみの持てるHPになったのか、自信のないままのスタートですが、改善を加えながら、いつまでも飽くなき進化を続けたいと思っています。

たかつき市民活動ネットワークの URL : <http://homepage3.nifty.com/ca-minnanoie/> を皆様のパソコンのお気に入りに登録頂き、活用していただくようお願いします。



ホーム 役員紹介	みんなの広場 規約・会則	会員紹介 会員募集	イベント紹介 活動の歩み	助成金情報 活動状況	事業内容 会報紹介
-------------	-----------------	--------------	-----------------	---------------	--------------

たかつき市民活動ネットワークは、社会貢献を志している市民活動団体や一般市民の皆さまが、より活発な社会活動を進められるよう、交流・協働の場や情報発信・研修の機会を提供するとともに、社会環境の整備などの政策提言を行い、すべての人が大切にされる、市民社会づくりに貢献したいと念願している市民活動団体です。
市民の皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

[お知らせ](#)、[ニュース](#)、[トピックス](#) ← クリック

市民の参加を促進する事業・実行計画

担当 山下 征紀

総会決定の3つの事業項目を実行計画にして推進。今後、進捗の状態によって、会場設定、教材編集作業等で皆様のボランティア支援が是非とも必要です。ご賛同ご協力ください。

(1)「高槻市民が知りたい100項目」改訂版の発行(担当、山下、日比)

参加者3名で、第1・3の火曜日、午後1時半から検討会を開催。目下、古いデータを2005年3月末の統計書ベースに見直しスタート。次いで、近隣他市(枚方・豊中・吹田・茨木)との比較をして、新たな追加項目を抽出する計画にて推進する。

(2)2007・たかつきルネッサンス塾の開催(担当、日比、山下)

メーリングのアンケートを参考にして、昨年度積み残した課題、最近の話題、また、冊子「高槻市民の知りたい100項目」の改訂版との関係をにらみながら推進する。9月29日(土)に開催する、本年第1回目として、「一緒に考えよう 地球環境問題」を皮きりに、「気になる消費生活」「少年非行とその背景」等のテーマにて計画。

(3)団塊・シニア生活設計講座(仮称)実施のためのプロジェクト(担当、山下、日比)

会員3名、外部専門家3名の6名でスタート。第1・3の土曜日、午後1時半から。目下、6セッションのオリジナルプログラムの担当を決め、内容を精力的に検討中です。

パソコン活用講座開催します

IT 活用委員会

市民活動の実際の活動にすぐ役立つパソコン講座です。団体の活動を広く市民に伝える広報活動や、活動記録の整理などに欠かすことの出来ない道具として、パソコンの活用術を分かりやすくお教えします。

講座 1 10/28(日)13:00-17:00

「Word2003 見栄えのするチラシを作成しよう」

講座 2 11/11(日)13:00-17:00

「デジカメ画像の上手な編集・整理法」

講座 3 12/2 (日)13:00-17:00

「役立つインターネット活用術」

各講座とも 17 時～18 時まで自由参加の個別相談会

を行います

会場: たかつき市民活動ネットワーク事務所(市民活動センター「みんなの家」)

講師陣:北摂 SITA の会々員(富士通ラーニングメディア認定 SITA 資格取得講師)

受講料:各講座 1,500 円 (4時間講座+1時間個別相談会+テキスト代を含む)

定員:各講座 10名 申し込み先着順

申込締切:10月12日(金)必着

申込方法 :受講申込書にて、たかつき市民活動ネットワーク事務局へ郵送又は FAX

ロゴマークが決まりました

担当 山下 征紀

会員の投票の結果を参考に、第4回理事会で英文字“TCAN”をデザインした下図に決定しました。TCANはTakatsuki Citizen Activity Networkの頭文字を採ったコーポレート・アイデンティティです。

そしてアクセントとしての緑色のシンボリックなポイントは、高槻の自然に溢れた環境をデザインしたものです。TCANの字体は、未来へ向かっての高槻の可能性(CAN;できる)を表しています。当面は名刺、印刷物、HPに使用します。

追って活用の内規を決めますが、アイデアをご提供下さい。

尚、このデザインは会員・江口宏さんに案を創作していただき、実現に至ったことを御礼旁々、紹介させていただきます。



みんなの家(事務所)利用のルール

担当 日比 徹

みんなの家に、ネットワーク事務所を開設して5ヶ月経過しました。まだ、常時開館には至っておりませんが、利用方法が決まりました。詳細は、事務局にご相談下さい。現在7団体が利用しており、その内、5団体が事務機を設置しています。また、大小2つの会議室があります。会議室、備品(コピー機、印刷機、プロジェクター、ラミネーター等)は有料ですが安価

に利用できます。会議室利用は予約データインプットが必要です。専用駐車場がありませんが短時間であれば、空き地に1~2台駐車できますが、数台以上の駐車が必要な場合には、前もって連絡を戴ければ準備します。来所される時は電話(674-1959)にてご連絡くだされば確実です。会員のみなさんのご来場を大歓迎で、お待ちしております。

編集後記

酷暑、猛暑、炎暑、熱暑、蒸暑、…。こう書くだけでも、うんざりです。世界的な天候不順は、地球が病んでいる(?)証左。また、人の倫理も異常が多すぎる。せめて、私たちは活動をクールに考え、住み良い市民社会の実現に力を注ぎたいもの。その実現に向けて、新しい事務所へお越しください。【緑】